

ProMED-mail情報 2016年 2月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介いたします。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
29日	流行性耳下腺炎 米国	2月25日夜、ニューハンプシャーの保健福祉省は大学内で流行性耳下腺炎が流行していると警告。罹患者は全員がホッケー部員であり、予防接種済み。2回接種後の有効率88%。公衆衛生局は調査を行っているが春休み期間に入るため困難で、移動により国内に流行を広げる可能性。
27日	黄熱 アンゴラ共和国	死者は118人に達し、感染者が最も多いのは首都であるルアンダで死者82人を含む434人。次いでウアンボ(18/55)、ウイラ(12/49)。2月2日以降のワクチン接種者数はルアンダで190万人、ヴィアナで170万人。保健当局はアンゴラには偽造黄熱病ワクチンは流通していないと発表。
26日	梅毒 米国	2012年以降、ネバダ州Clark Countyで早期梅毒の報告が激増。2015年までで128%の増加を示し落ち着く様子はない。694例の新患のうち615人が男性。2014年に米国全体で確認された新患の91%は男性で、その83%が同性間の性行為を行っていた。
24日	RSウイルス 米国	ウィスコンシン州の医師らがRSウイルス感染について警告。呼吸器感染で毎年多くの感染者が出るが、今シーズンは重症例が増加。
21日	ハンタウイルス感染症 チリ	54歳女性にハンタウイルス感染が確認され、Rengoの病院に入院。女性がどこでこの疾患に感染したのか、保健省の地方局は接触者の聞き取り調査。市民に休暇中は藪などに行かないよう警告。女性の入院中に保健当局は疾患を媒介するネズミを駆除する。
20日	リーシュマニア症 フランス	フランス南部でイヌのリーシュマニア症が流行。現在までに4万匹が感染。コルシカの2県を含む14県に警告。サシチョウバエが媒介してヒト(年間40例)や他の動物にも感染する。
16日	ラッサ熱 ナイジェリア	2月14日オグン州政府はラッサ熱による州で最初の死亡者を発表。他に一人の感染が確認。死亡した女性は指定医療機関であるオグン州立大学病院に入院。葬儀に出席した親族の一次接触者121人に発病はない。2例目は28~30歳で妊娠12週の女性で、治療が有効。アベオクタから葬儀のため夫の故郷であるコギに来て、その後2週間オグン州に滞在。
14日	百日咳 スペイン	カスティリャラマンチャ保健当局はグアダラハラで百日咳の家族内集団発生を確認。モロッコ出身でワクチン接種歴が不明な両親と、その子供2人。7歳の子供はワクチンを5回接種。生後3週間の乳児のみICUに入院中。患者数自体は変化なし。スペイン全体では人口10万人あたりの発生が15.6人のところ、カスティリャラマンチャでは6.8人。
13日	クリミア・コンゴ出血熱 インド	9日死亡したグジャラート州の40歳男性がクリミア・コンゴ出血熱の検査で陽性。医療チームが派遣され近親者を調査したが、症状のある者はいなかった。それ以前の2015年10月20日ジャームナガルで2歳の男児が死亡。
10日	アルゼンチン出血熱 アルゼンチン	アロヨセコの11歳女児がロサリオ北部の小児病院で、心血管不全で死亡。救急センターで検査した結果、アルゼンチン出血熱が原因と発表。
7日	マラリア カンボジア	WHOは2030年までに大メコン圏からマラリアを排除するという政策の下に、カンボジア政府に30億ドルの資金援助を約束。特効薬とされていたアルテメシニンの抵抗性のマラリアの蔓延が懸念。
4日	鳥インフルエンザ イラク	イラク保健農業省は、クルド人地域からのすべての鳥類および家きんの持ち込みを禁止すると決定。70万羽の鶏が殺処分。保健省はクルド人地域を除くイラクのすべての行政区は清浄だと発表。
2日	インフルエンザ 米国	2016年2月1日CDCは重症インフルエンザに関する注意喚起と勧告。1月23日時点での死亡率は流行閾値を下回っているが2009H1N1が増加傾向。生後6か月以上の全員に早急なワクチン接種を、さらに2歳以下65歳以上や入院中などのハイリスク者には抗ウイルス薬の使用を強く推奨。